



くすの木

基本理念：地域に信頼され親しまれる病院を目指します。

野村病院だより「くすの木」は、管理栄養士による「ヘルシーレシピ」や病院スタッフの紹介など野村病院や健康に関する情報満載の季刊誌です。

外来診療担当医一覧

科目	時間	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前		古川		佐伯		石原
	午後	石原	古川	石原		瀧川	
循環器内科	午前	落海		藤井		東	
	午後						
外科	午前	井上・伊藤	井上・伊藤	右近	井上・右近	伊藤	井上
	午後		右近	伊藤		右近	
乳腺	午前	高永甲・木村	高永甲	高永甲	高永甲	高永甲	高永甲(第1・3・5)
	午後		高永甲	高永甲		高永甲	
整形外科	午前			作田			
	午後	松村					
神経内科パーキンソン専門外来	午前						森野(第2・4・5)
	午後						
脳神経外科	午前						
	午後		広島大学(16:00まで)			広島大学(16:00まで)	

外来診療のご案内

- 内科(消化器・循環器・呼吸器・内分泌・神経・内視鏡)
- 外科(消化器・肛門・乳腺・呼吸器)
- リハビリテーション科 ●麻酔科
- 脳神経外科 ●整形外科

受付 TEL 082-875-1111
 F A X 082-850-2825(地域連携室直通)
 受付時間/午前8:30~12:00 午後13:00~17:00

午前中の診療は予約制です。ご予約のない患者様は担当医以外の診察となる場合がありますのでご了承ください。

総合診療科 診察時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 14:00~17:00	○	○	○	○	○	休	休

※ただし初診および急患は予約の有無に限らず随時診察いたします。

アクセスMAP



- 広交バス「祇園出張所前」下車・徒歩6分
- 可部線「下祇園駅」下車・ゆめタウン方面へ徒歩6分



Vol.90
2021.5



爽やかな風が吹き渡る季節となりました。

この度ダイケアでは、男性利用者様を主体とし、大きな桜の木、その横を伸び伸びと泳ぐ鯉を制作しました。

材料にはダンボールや広告、お菓子の包み紙、針金など様々なアイデアが飛び出し、3ヶ月以上かけての完成となりました。男性らしい力強い作品に仕上がりました。



放射線科だより ～脳卒中を未然に防ごう！～



新しく放射線科の科長として就任致しました利光と申します。放射線のプロとしてチーム医療に貢献し、医療人としての「思いやり」を忘れず、患者さまに安心・信頼して検査を受けて頂けるように努めて参ります。検査に関する質問やお問い合わせは、お気軽にスタッフまでご相談ください。

脳卒中とは

脳卒中には脳の血管がつまる脳梗塞と、破れる脳出血・くも膜下出血があり、発生部位またはその先の細胞に栄養が届かなくなることで、細胞が壊死を起こす病気です。発症した場合、たとえ一命を取りとめても、重度の後遺症を残す人も多くみられます。

当院で行っている頭部MRI検査（画像の種類）について

・頭部MRI画像

脳全体を鮮明でとても細かく数種類の画像を撮影し、脳梗塞や脳腫瘍の有無や大きさ、発生部位などを検査します。また、副鼻腔や眼窩、内耳などその他の部位についても観察します。

・頭部MRA画像

造影剤を使用せずに脳の血管を撮影し、くも膜下出血などの原因となる脳動脈瘤や脳動脈硬化、脳動脈の狭窄や閉塞の有無を検査します。

・頭部DWI画像

急性期の脳梗塞を発見することができます。



当院のMRI室の様子

脳梗塞とは

脳血管が動脈硬化の影響で塞がれてしまったり、血管壁の内側にコレステロールの固まりができ、そこに血小板が蓄積することで、血流が遮断される状態です。

同じ位置の横断面



頭部MRI画像
脳梗塞が白く描出される（一部）



頭部DWI画像
新しい脳梗塞が高輝度で描出される（一部）

脳梗塞とは

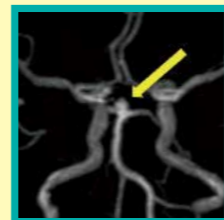
脳血管の壁が長期の高血圧などにより傷つき破れ、脳内に血液が溢れ出る状態です。

くも膜下出血とは

脳動脈にできた動脈瘤が破裂し、くも膜下腔と呼ばれる脳の隙間に出血が起こる状態です。



頭部MRA画像
正常例



頭部MRA画像
動脈瘤あり（一部）
(画像提供：たなべ春日野クリニック)

発症リスクと予防

脳卒中の危険因子(脳卒中治療ガイドライン2015より)として、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙、飲酒、炎症マーカーがあげられ、生活習慣の乱れがそもそもの原因とすることができます。さらに、加齢や肥満、ストレス、高尿酸血症が加わると発症リスクは高まります。脳卒中を未然に防ぐためには、バランスのとれた食事(塩分・脂肪・糖質を控えめに)、十分な水分摂取、適度な運動など生活習慣に気を配ることがとても大切です。



令和3年3月3日(水)

「COVID-19 感染防止対策について」 研修会を開催!!



2020年はコロナウイルスに翻弄された一年間でした。当院も発熱を主訴に来院される患者さんも多くありました。そこで患者さんや医療職員を守るべく様々な感染対策を検討し実践してきました。

令和3年3月3日(水) 当院4階会議室において感染対策委員が主催し、広島市立安佐市民病院 感染管理認定看護師の大野公一氏をお招きし「COVID-19 感染防止対策について」をテーマに研修会を開催いたしました。今回の研修ではPPEの着脱、ゾーニング、コロナ患者のケア等を実演も交えて分かりやすく教えていただきました。更に私たちが実施している感染防止対策が適切であるかを検証して頂くよい機会となりました。

日頃は重装備なPPEを装着することはありませんでしたが、実際に装着すると首回りや裾回りに隙間ができ感染防止になっていないことも分かりました。これらを装着するにあたっては様々に配信されているPPEの着脱動画にない部分が現場のスタッフにより工夫されたと話しておられました。また、感染予防の基本である手洗いの重要性についても理解を深めることができました。一行為・一手洗いを厳守し感染拡大を防ぎたいと思います。

COVID-19においては未知の状態であることを踏まえ、自院の職員皆が世の中の状況を見据え一致団結して感染防止対策に取り組んでいくことが大切であると感じています。

これからも患者さんに安全な医療を提供できる環境づくりができるよう、今回の研修で学んだ知識・技術を生かし、日頃から感染対策の創意工夫を行うよう心掛けていきたいと思っています。

※PPE = Personal Protective Equipment <個人防護具>

